

署名簿

衆議院議長 大島理森 殿

令和 年 月 日

請願団体 ミキサー食注入で健康をのぞむ会
住所 静岡県静岡市葵区瓦場町 8 1
ヴィルヌーブ瓦場 1 0 2 号
電話 054-395-5851
請願人氏名 下釜 櫻子 ㊞

「既存規格接続コネクタ存続と使用継続」 に関する請願書

請願の趣旨

平素より障害児者の福祉の向上と医療の充実にご理解ご支援いただき感謝申し上げます。
私たちは、様々な障害があるため経腸栄養で生命をつないでいる重度の障害児者とその家族の集まりです。

「毎日の食事」の大切さは、言うまでもなく障害児者にとっても同様です。重度の障害児者の中には、栄養剤の投入による副作用などにより困難に直面していた時、栄養指導によるミキサー食注入を実践する機会を得、栄養を食品によって摂取できるようになることで、腸内の免疫細胞が活性化し便秘は解消し、良い睡眠をもたらし、障害児者の健康状態が格段に改善され維持されてきたことを見て、その効果を実感してきました。ミキサー食注入の実践は、重症心身障害児者の各家庭に普及し、施設、学校、病院においても提供されるようになりました。

昨年12月、他システムとの誤接続防止を目的とした国際規格の導入が開始され、既存規格接続コネクタが廃止されることが決定しました。この決定により「既存規格接続コネクタ（非ネジ式）」が出荷停止となり「新規格接続コネクタ（ネジ式）」のみの供給になれば、ネジを回す作業を繰り返すために、手指の酷使は増し、注入に要する時間は何倍にもなり、家族、施設等介護者の負担が増すことがわかりました。このため、ミキサー食注入を続けていくことが困難になり、それは重症心身障害児者にとって生命を脅かす一大事となります。「嘔吐」「下痢」「逆流性食道炎」「アレルギーの悪化」「肺炎」「拒食」「てんかん発作の増加」などの、ミキサー食注入によって改善されていた症状が再発し、免疫力低下により感染症にかかるリスクは増し、持病の悪化をも招き、生命を落とす危険性が高くなることは、家族がすでに体験していることです。

すなわち、ミキサー食注入は生きるための大切な食事法であり、「既存規格接続コネクタ（非ネジ式）」は、食事をするためになくしてはならない「いのちづな」なのです。

ミキサー食注入を継続し、命を守るために、「既存規格接続コネクタ（非ネジ式）」の存続と使用継続を可能にさせていただくことを強く要望します。

